

キャラクター名

ウサギ ユウリ

プレイヤー名

シンドローム	ブラム＝ストーカー		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	ブラム＝ストーカー					
オプショナル			年齢	17	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	吸血		初期侵食率	37%
出自	天涯孤独	経験	UGNへの忠誠		邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	12
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	12
精神	2	0	0			2	戦闘移動	17
社会	0	0	1			1	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3		R C	1		交渉		
回避			知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ポルトアクションライフル	射撃	5r+8		8		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
ポルトアクションライフル		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		吸血鬼	P	N	
		黒瓶叶夜	P 庇護	N 隔意	
		UGN	P 傾倒	N 不安	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	2	残り財産P:	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
紅の王	2	-	常時				ピ17	
効果：ブラムストーカーの消費HPを-Lv								
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果：c値 -Lv								
滅びの一矢	3	2	メジャー	武器		対決		
効果：HP-2(0)、ダイス+(Lv+1)個								
ブラッドボム	4	1	メジャー			対決		
効果：ダメージを負わせた場合、更に(Lv-1)Dダメージ。同HP(-2)ダメージを受ける。								
血の宴	2	3	メジャー	範囲(選択)		対決		
効果：攻撃対象を範囲(選択)にする。1シナリオLv回								
滅びの遺伝子	2	6	オート	視界	単体	自動	ピ17	
効果：ダメージを受けた場合、対象に(Lv×10)ダメージ。1シナリオ1回。								
赤き聖餐	1	3	セットアップ	至近	単体	自動	D	
効果：戦闘不能回復。HP(Lv×5)回復。1シーン1回。								
かぐわしき鮮血	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果：鼻はいいの。								
衝動探知	★	3	メジャー	至近		自動		
効果：舐めればわかるわ。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

■ 一人称:「わたし」 二人称:「あなた」
「黒瓶くん」、「伏見くん」
「～よ」、「～だわ」、「～かしら?」、「ええ」/「～です」、「～ですか」、「はい」

「……カレシ?作った方がいい?それなら水35リットル炭素20kgアンモニア4リットル石灰1.5kgリン800g塩分250g硝石100g硫黄80gフッ素7.5g鉄5gケイ素3gその他少量の15の元素細胞66%、細胞外液24%、細胞外固形物10%を一気に調達してくれる?」

・光が丘高校に通いながらUGNチルドレンとして任務を遂行するオーヴァード。帰宅部。
表情の変化に乏しく物静か。しかし、真顔でボケるタイプ。ボケ寄りのボケ。いかにも休み時間は教室で本を読んでいそう(読まない。友人たちと駄弁る)。よく黒瓶叶夜と伏見煉とつるんでおり、2人に対しては少しだけ表情が緩む様子も見受けられる。もしも二人に何かあれば、身を張ってでも守ろうとするだろう。ぱっと見はノイマンのような雰囲気をしているがノイマンではない。成績は中の上程度。得意科目は体育。とても足が早い。

・生まれつきのオーヴァード。その外見(血の通っていないような肌に枯れたような白髪、血が滲んだような瞳)と、生後すぐに生血を求めたことから、両親に「気味が悪い」と捨てられ、UGNに引き取られる。両親の記憶が一切無く、UGNという組織が家であり親でもあるという認識。

・自身に居場所を与えてくれたこと、生きるための最低限の環境を用意してくれたこと、自身に備わった生まれつきの力を否定しないでくれたこと。UGNへの恩義は生涯をかけても返せない。だから、せめてその一端だけでも報いたいと忠実に任務や司令をこなしている。
それが、わたしの存在意義だ。
ひとことと言うなら、UGN狂信者。コードネームもその狂信ぶりを揶揄されて名付けられた。